

2016年度事業報告

I 全体総括

1 福祉サービス第三者評価事業に対する関心の高まりと課題

社会的養護関係施設の受審義務化、保育所の受審の努力義務化、社会福祉法人改革などの諸改革の進行に伴って、福祉サービス第三者評価事業に対する関心の高まりと同時にそのあり方が問われている。

2017年2月、内閣府の規制改革推進会議（医療・介護・保育ワーキンググループ）は、「もっと利用者のサービス選択に役立つ仕組みは何か」をテーマの一つに掲げて公開ディスカッションを開催した。その論点は市民目線での「サービスを選択できる仕組み」をどう整備するかであり、「介護サービス情報の公表制度」とともに「福祉サービス第三者評価事業」が取り上げられ、当連絡会会長が福祉サービス第三者評価事業の現状と課題等について報告を行ったところである。

利用者の適切なサービス選択に資することは事業の目的の一つであり、その実現に向けて当連絡会としても事業の現状や課題の整理・提言などの取組みを強化していく必要がある。

2 評価調査者の資質の向上と組織基盤の強化

2016年度事業を通じて、研修会の実施、都道府県推進組織等が行う研修会の講師受任による評価調査者の資質の向上とともに、情報発信や組織基盤の強化に努めた。

保育所の受審の努力義務化を踏まえて「保育所評価基準（ガイドライン）の理解」を共通テーマに全国4か所で研修会を開催したところ、保育所関係者等を含め160人の参加者があり、関心の高さが窺えた。また、都道府県推進組織等からの講師派遣の依頼件数も増加した。

それらの研修ニーズに的確に応えていくため、研修会の内容充実と講師の養成をどのように進めていくかが課題である。

さらに、パンフレットの発行やホームページの充実による情報発信とともに、組織基盤の強化を図るため、研修会等の機会を活用して会員加入の促進を図ったところ、当年度中の新規会員加入は15人であった（2017年3月31日現在の会員数71人）。さらなる会員の獲得に向けてより積極的な取組みを進めていく必要がある。

II 事業活動

1 評価調査者の資質向上

(1) 保育所に関する評価調査者に対する研修の実施（新規）（定款第4条の1）

| 期日 | 会場 | 内容 | 参加者 (主催者 含む) | 備考 |
|-----------|--------------------------|--|--------------------|--|
| 7月9日(土) | シーバード五反田(東京都品川区) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の評価の特徴と保育所評価基準(ガイドライン等)の理解(岡田理事) ・ 病院機能評価(公益財団法人日本医療機能評価機構評価事業推進部・部長遠矢雅史氏) | 33人 | |
| 10月15日(土) | ふれあいランド岩手ふれあいホール(岩手県盛岡市) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の評価の特徴と保育所評価基準(ガイドライン等)の理解(岡田理事) ・ 事例検討ー保育所の評価結果の実例をもとに意見交換ー(メイアイヘルプユウ) ・ 大学認証評価(岡田理事) | 42人 | [後援] 岩手県社協 |
| 12月10日(土) | 新潟ユニゾンプラザ(新潟県新潟市) | <ul style="list-style-type: none"> ・ ISOの基本的な仕組みの理解とその活用(一般財団法人日本規格協会・執行役員加藤芳幸氏) ・ 福祉サービス第三者評価制度をめぐる動向と課題ー保育分野の評価を中心にー(全社協政策企画部・部長 笹尾勝氏) ・ 保育所の評価の特徴と保育所評価基準(ガイドライン等)の理解(岡田理事) ・ 新潟県の第三者評価プロセスと効果的な事業所の取組み(新潟県社会福祉士会・田崎基氏) | 40人 | [共催] 新潟県社会福祉士会 [後援] 新潟県 新潟県老施協 |
| 3月11日(土) | 日本社会事業大学文京キャンパス(東京都文京区) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本経営品質賞に向けた社会福祉法人としての取組み(社会福祉法人こうほうえん理事長 廣江研氏) ・ 保育所の評価の特徴と保育所版評価基準ガイドラインの理解(岡田理事) ・ 保育分野における第三者評価プロセスにおける留意点ー評価機関としての取組みー(メイアイヘルプユウ・岩手県社協) | 45人 | |
| 参加者人数の計 | | | 160人 | |

(2) 評価調査者倫理綱領の作成（新規）

継続的に検討

2 調査研究（定款第4条の2）

2017年度実施で調整中

3 全国研究大会（定款第4条の3）

前述「1の(1)」の研修に組み換え

4 講師派遣（定款第4条の4）

(1) 全国社会福祉協議会及び都道府県推進組織等が実施する研修への講師派遣

以下の諸研修に講師を派遣し、評価調査者等の育成に協力した。

① 全国社会福祉協議会主催の研修

- ・ 評価調査者指導者研修会（新津会長・岡田理事）
- ・ 評価調査者リーダー研修会（高齢者・障害者分野）（奥田副会長・田崎会員）
- ・ 保育所第三者評価普及セミナー（右京副会長・岡田理事）

② 都道府県推進組織からの要請に基づくもの

新潟県（右京副会長）、徳島県（新津会長）、三重県（右京副会長）、福島県（新津会長）、石川県（新津会長）、富山県（新津会長） 合計6か所

③ そのほか

- ・ 島根県隠岐郡隠岐の島町内の保育所（新津会長）
- ・ 全国小規模保育協議会仙台支部（新津会長）

(2) 全国の評価機関に対する学習、交流会等の機会による支援

- ・ 保育所における福祉サービス第三者評価受審促進研修会（認定特定非営利活動法人シーズネット主催、当連絡会後援）（新津会長・奥田副会長・岡田理事）
- ・ そのほか、前述の研修会の機会を通じて全国の評価機関・評価調査者（非会員を含む）への情報提供や意見交換を行った。

5 会員相互の交流（定款第4条の5）

ホームページによる計画的な情報発信に努めた。

4月19日 改善提案に関する調査研究事業報告書（PDF）

5月21日 2016年度通常総会開催のご案内

6月3日 法人案内2016年度版（PDF）

6月17日 2016年度活動方針

6月17日 研修講師派遣申込書フォーマット（PDF・WORD）

6月25日 評価調査者研修会のご案内

- 7月10日 定時総会で2016年度事業計画等が決定
- 7月31日 病院機能評価制度を学ぶ—評価調査者研修会（第1回）開催—
- 7月31日 地方の評価機関との初のコラボ—札幌市で研修会開催—
- 9月17日 第2回評価調査者研修会〈岩手〉のご案内
- 10月20日 第2回評価調査者研修会〈岩手〉の報告
- 11月12日 「保育の友」の特集で「第三者評価事業」が取り上げられました
- 2月3日 第4回評価調査者研修会〈東京〉のご案内
- 3月15日 「月刊福祉」の特集で「第三者評価事業」が取り上げられました
- 3月17日 内閣府規制改革推進会議「公開ディスカッション」への参加
- 3月31日 第3回〈新潟〉、第4回〈東京〉研修会の報告

6 関係機関との連携（定款第4条の6）

（1）委員会委員

- ・ 全国社会福祉協議会「福祉サービスの質の向上推進委員会常任委員会」（新津会長）、「同委員会共通基準部会」（叶井理事）、「同委員会評価調査者部会」（新津会長・右京副会長・岡田理事）、「同委員会児童部会」（岡田理事）、「同委員会高齢者部会」（田崎会員）、「同委員会障害部会」（奥田副会長、坂口会員）、厚生事業部会（右京副会長）
- ・ みずほ情報総研「社会的養護関係施設における第三者評価の活用に関する調査・検討会」（新津会長・右京副会長・岡田理事）

（2）関係機関への協力

- ・ 「福祉サービスの第三者評価 受け方・活かし方—障害者・児福祉サービス版—」（全社協）の執筆（奥田副会長、坂口会員）
- ・ 内閣府規制改革推進会議「公開ディスカッション」（2017年2月21日）への参加（新津会長）
- ・ 「保育の友」（2016年12月号：全社協）特集（新津会長）
- ・ 「月刊福祉」（2017年3月号：全社協）特集（新津会長、右京副会長）
- ・ 「ほいくる」（第22号、2017年1月20日冬号：保育文化研究会）【自由研究】への「保育園と第三者評価」の執筆（岡田理事）

7 そのほか、本会の目的に沿った事業（定款第4条の7）

（1）指導者（講師候補者）名簿の作成

会員に対して講師受任の意向を把握して29人の講師候補者名簿を整備した。
（2016年9月1日現在）

（2）パンフレット作成による本会の諸事業の周知

「法人案内パンフレット」（2016年度版）を作成し各都道府県推進組織に配

布（2016年5月）したほか各研修会で配布した。

Ⅲ 組織活動

1 会員

諸研修の実施、講師協力、パンフレット発行、評価機関との交流等の事業展開を通じて会員の拡充を図った。

- (1) 2016年度会員数の目標100人
- (2) 2017年3月31日現在71人（正会員71人 賛助会員0人）
- (3) 新規加入・退会
 - ・ 新規加入者15人（北海道2、熊本県5、青森県・東京都・石川県・静岡県・三重県・鳥取県・岡山県・宮崎県が各1）
 - ・ 退会 1人（東京都）

2 総会

本会の事業報告及び事業計画等の重要事項を決定するため、定時総会を開催した。

- (1) 期日、会場
2016年6月5日（日）午後2時 シーバード五反田4階（東京都品川区内）
- (2) 出席状況
社員総数59人 出席社員数38人（委任状による者23人を含む）
- (3) 議事
第1号議案 2015年度事業報告及び決算報告について
第2号議案 2016年度事業計画（案）、予算（案）について
第3号議案 任期満了に伴う理事及び監事の改選について

3 理事会

本会の事業運営及び予算の執行状況などを検討するため理事会を開催した。

| No. | 期日 | 会場 | 議事 |
|-----|--------------|-------------|--|
| 1 | 4月25日 (月) | 東京都品川 区内 | ・ 2016年度事業計画案について ・ 総会について |
| 2 | 6月5日 (月) | 東京都品川 区内 | ・ 総会の運営について（事業報告、決算、事業計画、予算、役員改選等） ・ 2016年度事業の具体化について |
| 3 | 6月5日 (月) | 東京都品川 区内 | ・ 会長、副会長の選任について（協議の結果、新津会長、右京副会長、奥田副会長を選任） |

| | | | |
|---|---------------|-------------|---|
| 4 | 7月9日 (土) | 東京都品川 区内 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員加入状況について ・ 事業計画の進捗状況について |
| 5 | 12月10 日(土) | 新潟県新潟 市内 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 次期調査研究事業について |
| 6 | 3月11日 (土) | 東京都文京 区内 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 次期調査研究事業について ・ 次年度の事業計画について（研修、講師名簿ほか） |

4 事務局

事務局を特定非営利活動法人メイアイヘルプユ一内に設置し、職員を配置して必要な実務を行った。